

仕訳データ取込解説書

データ形式：支払いデータ、支払いデータ（残高）

仕訳データを取込するためには以下の順序で行います。
各項目の詳細につきましては、記載ページを参照してください。

取込データを準備する。

2Pへ

支払データ形式で仕訳データを取込むためには、発展会計の形式に合わせたデータを準備して頂く必要があります。

取込データ（支払形式）を準備する。

仕訳データを取込むためのデータ作成方法を解説します。

どのようなデータを準備すればよいですか？

支払形式のレイアウトに合わせたCSV（カンマ区切り）データをご用意ください。エクセルで作成可能です。

Point

支払形式のレイアウトはどのようなものですか？

支払形式のレイアウトは次項に記載しております。データ作成の際、参考にしてください。

取り込むことができる仕訳明細数に制限はありますか？

ほぼ制限はありません。

※複合仕訳で一伝票の明細数が999行を超える場合は取込みエラーとなります。

複数会計年度のデータを一度に取込みすることはできますか？

2年度分のデータを一度に取込むことができます。

支払データ形式と支払データ形式（残高）の違いは？

・支払データ形式

支払フラグが1となっているデータ。取込時に勘定科目コードと補助科目コードの組み合わせが、支払科目マスタとして登録されているかチェックをしています。

・支払データ（残高）

支払フラグが1となっているデータ。取込時に支払科目マスタのチェックは行っていません。

※どちらもCSVデータのレイアウトに違いはありません。

作成データレイアウト

列	貸借	項目名称	最大桁数 (半角)	必須 項目	備 考
A		データ区分	2		空白または0：通常伝票（※10：決算伝票は取込不可）
B		データID	10		未使用
C		伝票日付	10	○	yyyy/mm/dd（和暦の場合はH20/4/6又はH20.4.6）
D		伝票NO	8		空白または数字
E		入力日時	19		空白
F	借方	勘定科目コード	8	○	
G	借方	補助科目コード	9		ないときは空白。補助科目管理を行っている科目の場合は、必須。
H	借方	部門コード	8		ないときは空白。部門管理を行っている科目の場合は、必須。
I	借方	取引先コード	12		ないときは空白。取引先管理を行っている科目の場合は、必須。
J	借方	取引先名	30		
K	借方	税種別	2		次項を参照してください。
L	借方	事業区分	1		次項を参照してください。
M	借方	消費税率（%）	1		次項を参照してください。
N	借方	内・外・別記	1		次項を参照してください。
O	借方	金額（入力）	12	○	
P	借方	消費税額	12		外税のときのみ使用
Q	借方	摘要	70		
R	借方	支払いフラグ	1		支払明細データの場合：1 通常明細データの場合：0または空文字
S	借方	締日区分	2		空文字または0、5：5日、10：10日、15：15日、 20：20日、25：25日、99：末日
T	借方	支払予定日	10		yyyy/mm/dd （和暦の場合はH20/4/6 又はH20.4.6）
U	借方	手数料負担区分	1		空文字または0、1：当社、2：取引先
V	貸方	勘定科目コード	8	○	
W	貸方	補助科目コード	9		ないときは空白。補助科目管理を行っている科目の場合は、必須。
X	貸方	部門コード	8		ないときは空白。部門管理を行っている科目の場合は、必須。
Y	貸方	取引先コード	12		ないときは空白。取引先管理を行っている科目の場合は、必須。
Z	貸方	取引先名	30		
AA	貸方	税種別	2		次項を参照してください。
AB	貸方	事業区分	1		次項を参照してください。
AC	貸方	消費税率（%）	1		次項を参照してください。
AD	貸方	内・外・別記	1		次項を参照してください。
AE	貸方	金額（入力）	12	○	
AF	貸方	消費税額	12		外税のときのみ使用
AG	貸方	摘要	70		
AH	貸方	支払いフラグ	1		支払明細データの場合：1 通常明細データの場合：0または空文字
AI	貸方	締日区分	2		空文字または0、5：5日、10：10日、15：15日、 20：20日、25：25日、99：末日
AJ	貸方	支払予定日	10		yyyy/mm/dd （和暦の場合はH20/4/6 又はH20.4.6）
AK	貸方	手数料負担区分	1		空文字または0、1：当社、2：取引先
AL		証憑/伝番	6		空白または数字

注意事項

以下の項目において、データの取り込みを行う際に設定をよく確認してください。

- ・データ区分（A列）
支払データ形式では決算仕訳は取り込めません。A列は空白または0に設定してください。
- ・補助科目コード（貸方G列 借方W列）
補助科目マスタにおけるコードになります。発展会計では補助科目コード（補助科目マスタ登録の検索コード）は9桁です。
他社の会計ソフトで10桁以上のコードを使用している場合は、コードの変換を行ってください。（借方・貸方）
- ・部門コード（貸方H列 借方X列）
発展会計では部門コード（部門マスタ登録の検索コード）は8桁です。
他社の会計ソフトで9桁以上のコードを使用している際は、コードの変換を行ってください。（借方・貸方）
- ・取引先コード（貸方I列 借方Y列）
発展会計では取引先コード（取引先マスタ登録の検索コード）は12桁です。
他社の会計ソフトで13桁以上のコードを使用している際はコードの変換を行ってください。（借方・貸方）
- ・摘要（貸方Q列 借方AG列）
発展会計の摘要は最大70バイト（全角35文字）までです。他社の会計ソフトで70バイト超の適要を記入している場合は、71バイト以降の文字列を削除して摘要を取込みます。必要であれば、摘要の内容を変更してください。
- ・データ取込時の支払予定日の算出について
支払予定日に対してカレンダーマスタで指定した休業日を適用したい場合は、取引先別支払マスタの登録を行ってから仕訳データ取込を実行してください。
取り込んだCSVデータの支払予定日が空白の場合に取引先別支払マスタ登録で設定した内容でカレンダーマスタを参照し自動的に支払予定日を算出して取込を行います。
※CSVデータに支払予定日が存在する場合は、CSVデータの支払予定日にて取込みます。